

退職者連絡会

第63号
(発行・編集)
J R九州労組
退職者連絡会
鹿児島地区本部

新緑の薫下、親睦ゴルフ大会 松岡克己氏(元JR住宅) 3度目の栄冠

五月一六日、蒲生カントリークラブ(始良市蒲生町)において、第三七回親睦ゴルフコンペを開催しました。新緑の薫もと好天となり、当日は鹿児島市内、始良、隼人、出水など各地から三一名が参加、退連会本部より高田義廣会長もオーブン参加されました。草留和徳事務局長の司会で開会され、冒頭、堅山正明会長が挨拶「四月施行された県議選は、推薦候補の福司山(鹿児島市・郡)、湯浅(始良市)、秋丸(霧島市・始良郡)各氏が見事当選されました。ご支援、ご協力に感謝し、御礼申し上げます。新型コロナウイルス



ルスも今月八日からマスク脱着も個人の判断となり、インフルエンザ同様の五類となりました。しかしコロナウイルスが無くなったわけではありませんので、引き続き、個々の判断で感染対策は行なってください。絶好のゴルフ日和、日頃の練習の成果を発揮され、優勝を目指して頑張ってください」とエールを送りました。

来賓として高田義廣会長、上飯屋浩二書記長(JR九州労組鹿児島地本)が挨拶、鹿児島県議選への支援・協力に感謝を述べました。そのあと、上村ちかし始良市議が挨拶「帖佐駅のエレベーター設置や、周辺の整備等が現在進んでいる旨報告があり、皆様の負託に応えるため全力で頑張ります」と決意を述べました。



江口洋一幹事が競技のルール等を説明後、集合写真を撮ったのち、霧島・桜島両コースからスタート。各選手はシニア

とは思えない力強いドライビングショットやベタピンのアプローチショットなど美技を連発。一方、OBやバンカー等で悪戦苦闘する選手も続出しました。草留和徳事務局長の司会で表彰式が始まり、江口洋一幹事から順次成績発表がされ、ドラゴン、ニアピン、飛び賞、優勝など各賞品が堅山会長より授与されました。

松岡克己さん(元JR住宅)が三度目の栄冠を勝ち取りました。なお、佐土原明人さん(元鹿総合車両所)が退連会コンペ初のイーグル(ロング)を出しました。ベストグロス賞も佐土原さんが七人をマークし獲得しました。コンペは終始和やかな雰囲気の中で閉会となりました。

四年振りの規模拡大メーデー 多様性を認め合う社会をめざし

第九四回メーデー県中央集会が去る四月二九日、鹿児島市天文館公園で開催されました。今回は四年振りに従来のメーデーとなり、産別、単組約一八〇〇人(JR連合三〇人)が結集、JR九州労組退職者連絡会から七名が参加した。まず冒頭挨拶に立った下町和三会長(連合鹿児島)は、コロナ禍やロシアのウクライナ侵略等による経済情勢に触れ、「燃料の高騰や円安、物価高で国民は疲弊しきつている。賃上げは産別の頑張りによって一定の成果をあげている。しかし非正規労働者との賃金格差は拡大している」と格差の是正や多様性を認め合う社会づくりを強く訴えた。

編集後記

来賓として、下鶴隆央市長や鹿児島県議選で当選した福司山宣介県議を始め、市議、政党、友誼団体代表者らが多数参加した。集会の最後に「暮らしを守る取り組みを最優先に進めよう」とメーデー宣言を採択し、小雨の中、天文館周辺を四年振りにデモ行進、シニプレヒコールで市民にアピールし、抽選会のあと散会となった。

新型コロナウイルスもGW明けにインフルエンザ並みの五類感染症へと引き下げられ諸々の制約が解除された。ようやく全国支援旅行やインバウンドの復活もあり、駅周辺や天文館も入出が増加してきた。感染が低くなつたとはいえず、ウイルスが無くなったわけではない。引き続き、感染対策に留意し、日常的なライフスタイルを取り戻そう。